

帰国報告会で体験発表する、写真左からGSLP参加の学生、大邱保健大への交換研修生、コンケン大への交換研修生



GSLP & 交換研修 帰国報告会

貴重な海外体験 将来の糧に



私の部屋で
ランチを

図書館運営委員会主催の第74回「私の部屋でランチを」が10月27日（月）、キャンパステラスで開催され、今夏、本学の海外派遣留学プログラムに参加した16人の学生が「短期でもこんなに変わる！留学の一步～GSLP & 交換研修 帰国報告会～」と題して話しました。

学生たちはGlobal Student Leadership Program（韓国・大邱保健大学）、大邱保健大学交換研修、コンケン大学交換研修（タイ）の3つのプログラムごとに活動を報告。トップバッターのGSLP組は、K-POPダンスや料理コンテストなどの活動報告や、公共トイレは個室トイレの外にトイレトペーパーが置いてあることなど、韓国と日本の文化の違いについて話し、最後にはプログラム期間中の思い出をまとめた動画で楽しく伝えていました。大邱保健大学

のグループは、学科ごとに研修内容や学んだことを紹介。このうち看護学科の学生は、韓国と日本の医療の共通点は「安全」であることを紹介し、韓国での様々な学びによって看護師を目指す上での視野を広げることが出来たと述べました。

コンケン大学の交換研修生たちは、日本とタイの大学の演習内容の違いや、接種するワクチンの種類、出産方法の選び方など、地域の特性や異なる文化を理解した医療の大切さを学んだと話しました。

発表後は国際交流委員会の青木学委員長から「すてきな経験をしてきた一方で、もっと英語を話せたらなど、もどかしく感じることもあったと思う。その思いを次のステップにつなげてほしい」と総括しました。

（NL編集部）

4 年次生ねぎらい「感謝の会」

「ピア・サポーター4年生感謝の会」が10月30日（木）、キャンパステラスで開催されました。4年生23人に感謝状と記念品が贈呈され、学生相談・修学サポートセンターの檜原真二センター長が「これまで様々な場でのサポート、ありがとうございました。今後も社会や人のために頑張ってください」とエールを送りました。

会場は、学科ごとに2つずつテーブルが設けられ、テーブルの代表者がこれまでの感想を発表。「伝える力、サポートする力、傾聴力を身につけることができた」「他学年の人と関わり、アドバイスをすることの難しさを感じた」「先生方のサポートのおかげで楽しく過ごせた」「社会に出ていろいろな人とのコミュニケーションをとっていきたい」などと、振り返っていました。また後輩からのメッセージが掲載された「会のしおり」に目を落とし、読み入る様

子も見られました。

最後に、竹屋元裕学長が「オープンキャンパスなどでの活躍に感謝します。卒業し、医療人として進んでいく上で、ぜひ身につけたコミュニケーションスキルなどを活用して欲しい。国家試験もがんばってください」と激励しました。（NL編集部）



メンバーの前に、ピア・サポーターに入るきっかけなどを振り返る4年次生

子どもとの触れ合い通じ “評価の視点、習得

言語聴覚学専攻2年次生の必須科目「言語発達障害学Ⅰ」（担当：松尾朗講師）は、子ども一人一人がどんなふうに成長し、変化していくかを見極め、評価する力（経験）を学びます。前期の「言語発達学」で保育園を訪れ、子どもの言葉の発達について学んだ学生たち。その時に接した子どもたちが4カ月経ちどのように成長（発達）しているか、言語聴覚士としての“評価の視点”を身につけるべく、再び大学の近くの保育園・こども園を訪れました。

子どもたちは久しぶりの再会に大喜び。学生の手を引いて一緒に園内を散歩する姿や縄跳びを楽しむ様子、「鬼さんこちら～」と呼ばれ、ひたすら鬼役で走り回る学生も見られ、園内には楽しそうな声が響き渡っていました。子どもたちと砂遊びに興じていた学生は「授

業で学んだことを実際に確認できました」と学びを実感している様子でした。

（NL編集部）



園に通う男の子とパズル遊びをする学生

授業
拝見

健康・スポーツ
教育研究センター

レポート

選手の握力測定
を行う学生たち

次世代担う選手を後押し

くまもとワールドアスリート事業

熊本県スポーツ協会と連携して取り組む「くまもとワールドアスリート事業」の本年度第1回の測定会を10月29日（水）、学内のKMバイオリジクスアリーナで実施しました。

同事業は、将来のオリンピックや国際大会で活躍が期待される次世代アスリートを育成する取り組みで、5年目となります。中学・高校・大学の指定選手を対象としており、本学では年数回、スポーツ医科学的なフィジカルフィットネス測定を行うとともに、競技パフォーマンス向上に役立つ情報を提供し、今後のトレーニング計画に活用してもらっています。

この日、参加したのは、中学生男子1人と高校生女子2人の計3人（テコンドー、ウエイトリフティング、柔道）。益満美寿准教授、嶋村剛史助教を中心とした理学療法学専攻兼健康・スポーツ教育研究センター教員の指導の下、同専攻の1、4年次生5人と大学院生4人が、身体組成や筋力、スプリント能力、全身反応時間といったフィジカルテストやメンタルテストを実施しました。

本年度の測定会は、11月、12月、1月にも開催の予定です。

（健康・スポーツ教育研究センター 中村祐貴）

総合型選抜（社会人）、大学院推薦選抜など実施

リハビリテーション学科の総合型選抜（社会人）、大学院推薦選抜・社会人選抜（I期）、公衆衛生看護学専攻科推薦選抜、助産別科推薦選抜入試が1日（土）、実施されました。今年も多数の受験者が筆記試験・面接試験に臨みました。

当日朝は少し肌寒い天候となりましたが、

日中は過ごしやすい気温まで上がり、試験は滞りなく終了しました。合格者は、総合型選抜が12月4日（木）、大学院推薦選抜・社会人選抜I期が11月14日（金）、公衆衛生看護学専攻科推薦選抜と助産別科推薦選抜が11月11日（火）に発表されます。（入試・広報課）

健康フェアで住民の骨密度測定をする学生たち



お菓子のタワー出現

今週の1枚



形状が数字の「1」に似ていることから、「ポッキー&プリッツの日」に認定された11月11日を前に、学内のローソンでは、お菓子の箱を高く積み上げて盛り上げるポップが見られました。この時期の風物詩？

(NL編集部)



ふれあいフェスタinほくぶ

笑顔で住民の健康チェック

「第33回ふれあいフェスタinほくぶ」が10月25日（土）、北部体育館・北部武道館をメイン会場として開催され、本学からも医学検査学科と看護学科の学生16人が参加しました。本学は毎年、北区保健こども課、ささえりあ北部と共同で健康フェアを担当しています。

同日は、北部武道館で健康チェック（体成分測定・骨密度測定・血圧測定）を行いました。暖かい気候にも恵まれ、83人の地域の方が学生とのおしゃべりを楽しみながら和やかに測定を受けていました。

イベントではこの他、小中学生や団体の演奏・ダンス発表・バザーなどのプログラムが催され、多くの地域住民が訪れました。（地域連携委員会）

インフォメーション

週間行事予定（11月10日～11月17日）

11/11（火）	菊池高校 来学
11/17（月）	電子教科書研修